

球磨工業高等学校 2学年_全科「国語総合」シラバス（1～2月分）

1. 単元 《漢文》『論語』

2.単元の目標	3.評価規準
<p>【知識および技能】 ・『論語』の基礎事項と本文中の句法を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・『論語』を読み解き、現代にも通じる孔子の考え方に気付く。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・古代中国と現代日本の思考の共通する部分と異なる部分に気付かせ、興味関心を持つ。</p>	<p>【知識および技能】 ①『論語』の基礎事項と本文中の句法を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ②『論語』を読み解き、現代にも通じる孔子の考え方に気付くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ③古代中国と現代日本の思考の共通する部分と異なる部分に気付かせ、興味関心を持てる。</p>

4.授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価基準
第1回	前単元の復習	1	『卒業ホームラン』の復習を行う。 《方法》復習プリントの問題演習を行い、Classroomの解答を見て答え合わせを行う。	プリントの提出	
第2回	『論語』の基礎事項について押さえる	2	・『論語』について既習の知識をまとめる。 ・『論語』の基礎事項について押さえ、理解する。 《方法》 授業プリントの内容を講義、動画を視聴してまとめる。	プリントの提出	①
第3回	「学問」について学ぶ	3	・『論語』の「学問」についての漢文を読解し、句法と現代語訳を理解する。	プリントの提出	①・②
		4	《方法》 授業プリントの内容を講義、動画を視聴してまとめる。		
第4回	「仁」について学ぶ	5	・『論語』の「仁」についての漢文を読解し、句法と現代語訳を理解する。 《方法》 授業プリントの内容を講義、動画を視聴してまとめる。	プリントの提出	①・②
第5回	『論語』のまとめ・復習	6	・学んだ内容を復習し、現代に結びつく考え方について自分の意見を書く。 《方法》 授業プリントによるまとめと意見の記入（作文）	プリントの提出 Forms ミニテスト	②・③

球磨工業高校 2 学年 「現代社会」 シラバス (3 学期分散登校期間分)

期 間 1 月 2 8 日 (金) ~ 2 月 1 0 日 (木)

使用教材 教科書: 改定版 高等学校 現代社会 (数研出版)

資料集: ライブ! 現代社会 2 0 2 1 (帝国書院)

1. 単元 第 2 節 日本国憲法と基本的人権 (6) 日米安保体制と近年の防衛問題 (p92~93)

第 3 節 日本の政治機構 (1) 国会のしくみと役割 (p94~95)

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <p>①教科書や資料集をもとに、日米同盟の変遷について理解する。</p> <p>②教科書や資料集をもとに、国会のしくみについて理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>③理解を深めるために、資料集やインターネット等の複数の資料を活用する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>④冷戦終結後の世界状況の中で、これまで日本が行ってきたことや、これから出来ることはどのようなことがあるか考える。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>①教科書や資料集をもとに、日米同盟の変遷について理解することができる。</p> <p>②教科書や資料集をもとに、国会のしくみについて理解することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>③複数の資料を用いながら、単元の問いに対する答えを導くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>④冷戦終結後の世界状況の中で、これまで日本が行ってきたことや、これから出来ることはどのようなことがあるか考えることができる。</p>

※今回の分散登校期間における授業では、①・②及び③の評価規準を主とする。

4. 授業計画 (以下は 1/28~2/10 に実施される現代社会の授業 4 回分の計画です。既に終わっている範囲は次回以降の部分を行うこと)

No	学習項目	授業回	学 習 内 容	評 価 方 法	評価規準
1	日米安保体制と近年の防衛問題	1 時間目	<p>●プリント No.10<日米安全保障条約>の空欄穴埋めに取り組む。</p> <p>・参考: 教科書 p92~93、資料集 p171~182、インターネット等</p> <p>★登校している生徒は、内容の確認及び解答解説を行う。</p>	<p>●プリントの取り組み状況(登校時に確認)</p> <p>●確認テスト(単元終了後)</p>	① ③
		2 時間目	<p>●プリント No.10<自衛隊の国際協力と海外派遣><日本の安全保障の変容>の空欄穴埋めに取り組む。</p> <p>・参考: 教科書 p92~93、資料集 p171~182、p295~296、インターネット等</p> <p>★登校している生徒は、内容の確認及び解答解説を行う。</p>	<p>●プリントの取り組み状況(登校時に確認)</p> <p>●確認テスト(単元終了後)</p>	① ③ ④
		課題	<p>●確認テスト (Google Form)</p> <p>・プリント終了後、確認テストを実施する。</p>	●確認テスト	①

2	国会のしくみと役割	1時間目	<p>●プリント No.11<国民主権と議会制民主主義><国会の地位と構成>の空欄穴埋めに取り組む。</p> <p>・参考：教科書 p94～95、資料集 p131～138、インターネット等</p> <p>★登校している生徒は、内容の確認及び解答解説を行う。</p>	<p>●プリントの取り組み状況（登校時に確認）</p> <p>●確認テスト（単元終了後）</p>	②
		2時間目	<p>●プリント No.11<国会の権限><国会の現状と改革>の空欄穴埋めに取り組む。</p> <p>・参考：教科書 p94～95、資料集 p131～138、インターネット等</p> <p>★登校している生徒は、内容の確認及び解答解説を行う。</p>	<p>●プリントの取り組み状況（登校時に確認）</p> <p>●確認テスト（単元終了後）</p>	② ③
		課題	<p>●確認テスト（Google Form）</p> <p>・プリント終了後、確認テストを実施する。</p>	●確認テスト	②

登校しない日の授業について

- ・プリントの空欄の穴埋めを進めてください。
- ・授業の時間には必ず現代社会のクラスルームを開いておいてください。
- ・授業中に簡単な質問をクラスルームに提示するので必ず応答（コメント）してください。
※この質問は出席確認用です。コメントの内容で評価をするものではありません。
- ・確認テストの時は、回答が終わるまで教科書や資料集等は閉じておいてください。（カンニング禁止）
- ・No.11のプリントまで終わった場合は、No.12、No.13のプリントを進めてください。

※その他不明な点があれば、登校時に直接問い合わせてください。（クラスルーム等で質問をしても構いませんが、全てに対応できない可能性があります。）

球磨工業高等学校 2 学年「数学Ⅱ」シラバス（1～2月分）

1. 単元 5章 微分と積分 3節 積分

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不定積分や定積分の意味を理解する. 関数の定数倍や和・差の不定積分や定積分の値を求める事ができる. <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 微分と積分の関連性に着目できる. <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積分法の意味に関心をもつことができる. 	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 不定積分や定積分の意味を理解する事ができる. 関数の定数倍や和・差の不定積分や定積分の値を求める事ができる. <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 微分積分の関連性に着目し計算できるようになる. <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 計画を立て, 実施し, 取組を振り返る.

4. 授業計画 【登校→登校日, 家庭→家庭学習】

	学習項目		学習内容	評価方法	評価規準
第1回	*不定積分 和・差 不定積分 教科書 P207～210 WRITE 問題集 P126～128	登校	・教科担当者の説明を聴き, 教科書を熟読し問題集を解く.	教科書の取り組み状況	① ②
		家庭	・WRITE 問題集 P 1 2 6～1 2 8 (※370 を除く)を解く ・F o r m s を解く	問題集の取り組み状況	④
第2回	*定積分 教科書 P 211～212 WRITE 問題集 P 129	登校	・教科担当者の説明を聴き, 教科書を熟読し問題集を解く.	教科書の取り組み状況	③
		家庭	・WRITE 問題集 P 1 2 9 ・F o r m s を解く	問題集の取り組み状況	④
第3回	*定積分の公式 教科書 P 213～214 WRITE 問題集 P 130～131	登校	・教科担当者の説明を聴き, 教科書を熟読し問題集を解く.	教科書の取り組み状況	①
		家庭	・WRITE 問題集 P 130～131 (※376. を除く) ・F o r m s を解く	問題集の取り組み状況	④

【注意】Forms は「数学Ⅱ クラスルーム」にあります

【提出〆切】WRITE 問題集：学年末考査終了日に提出、Forms：2/10(木)18:00 まで

球磨工業高等学校 2 学年_全科「物理基礎」シラバス (1/28-2/10)

1. 単元 (1) 仕事の原理、仕事率 (2) 運動エネルギーと位置エネルギー

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の原理および仕事率を理解する。 ・運動エネルギーと重力による位置エネルギーを理解する。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりで利用されている道具について、仕事の原理を用いて利点を表現する。 ・運動エネルギーや位置エネルギーの増減に関する物理量を判断する。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の生徒の考えを取り入れながら、学びを深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①仕事の原理および仕事率を理解できる。 ②運動エネルギーと重力による位置エネルギーを理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③身のまわりで利用されている道具について、仕事の原理を用いて利点を表現できる。 ④運動エネルギーや位置エネルギーの増減に関する物理量を判断できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤他の生徒の考えを取り入れながら、学びを深めることができる。

4. 授業計画

授業の進め方

- (1) 授業プリント（記入用）、演習プリント（問題）、演習プリント（解説）の3種類を配付します。
- (2) Google Meet で授業を行いますので、授業プリントに記入したり miro で他の生徒の考えを取り入れながら学習します。
- (3) 演習プリントで、学んだ内容を練習する。
- (4) 演習プリント裏面の解説を見ながら丸をつけ、間違いやわからないところは解説を読んで理解する。
- (5) Google Classroom で質問に回答することで出欠確認とします。

5. タイムスケジュール

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	仕事の原理、仕事率	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ Google Classroom から Meet に入室し教師の指示に従い授業を受ける。 ・ 教科書 P. 60-61 ・ 授業プリント NO. 22 	クラスルームの質問への回答	① ⑤
第2回	仕事の原理、仕事率	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ Google Classroom から Meet に入室し教師の指示に従い授業を受ける。 ・ 前時に学習した内容の調べ学習を、ジャムボードへまとめる。 ・ miro でジャムボードを一覧しながら学びを深める。 	ジャムボードの完成 クラスルームの質問への回答	③ ⑤
第3回	運動エネルギーと位置エネルギー	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ Google Classroom から Meet に入室し教師の指示に従い授業を受ける。 ・ 教科書 P. 60-61 ・ 授業プリント NO. 22 	クラスルームの質問への回答	② ⑤
第4回	運動エネルギーと位置エネルギー	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ Google Classroom から Meet に入室し教師の指示に従い授業を受ける。 ・ 前時に学習した内容の調べ学習を、ジャムボードへまとめる。 ・ miro でジャムボードを一覧しながら学びを深める。 	ジャムボードの完成 クラスルームの質問への回答	④ ⑤

球磨工業高校 2 学年「体育」シラバス (1/28～2/10)

1. 単元 (1) 選択球技 (2) 体育理論

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題を積極的に取り組む。健康・安全を理解し運動に取り組む。 <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の仕方を考え、工夫する。 <p>【運動の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各運動種目の動きを身に付ける。 <p>【知識・理解】</p> <p>運動やスポーツの効果的な学習の仕方を理解する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①課題を積極的に取り組むことができる。 ②健康・安全を理解し運動に取り組むができる。 <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③学習の仕方を考え、工夫できる。 <p>【運動の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④状況に応じた動きや対応をすることができる。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤運動やスポーツの効果的な学習の仕方を理解できる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 自宅	・体育理論 (選択球技)	1	選択球技の「おいたちと発展」 「競技特性」「ルールと審判法」を学習する。 (アクティブスポーツを参考) 部屋でできるトレーニング	課題点検 (後日登校時に) Formsによる取組アンケート	① ③
第2回 登校	・体育理論 (選択球技)	2	選択球技の「おいたちと発展」 「競技特性」「ルールと審判法」を学習。	課題点検 授業観察	① ③
第3回 自宅	・体育理論 (選択球技)	3	選択球技の「おいたちと発展」 「競技特性」「ルールと審判法」を自学。 (アクティブスポーツを参考) 部屋でできるトレーニング	課題点検 (後日登校時に) Formsによる取組アンケート	① ③
第4回 登校	・選択球技	4	選択球技 (バスケット・バレー・ハンドボール・サッカー・ソフトボール)	授業観察 技能テスト	② ④ ⑤

※分散登校により第1回と第2回、第3回と第4回が入れ替わる生徒もいる。

球磨工業高校 2 学年「保健」シラバス (1/28~2/10 分)

1. 単元 (1) 社会生活と健康

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【関心・意欲・態度】 健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組む。</p> <p>【思考・判断】 健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断する。</p> <p>【知識・理解】 健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付ける。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ①健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組むことができる。</p> <p>【思考・判断】 ②健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断することができる。</p> <p>【知識・理解】 ③健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けることができる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 自宅	7 働くことと健康 (p 104. 105) 8 労働災害と健康 (p 106. 107) 9 健康的な職業生活 (p 108. 109)	1	・教科書を参考にノート P96・98・100 を解く。 1・2 学期に学んだことの復習。	Forms による取組アンケート 課題 (ノート)	① ②
第2回 登校	8 労働災害と健康 (p 106. 107) 9 健康的な職業生活 (p 108. 109)	2	・説明を聞く。 ・必要事項をノートにまとめる。	授業観察 課題点検	③

※分散登校により第1回目と第2回目が入れ替わる生徒もいる。

球磨工業高等学校 2 学年__全科「コミュニケーション英語Ⅱ」シラバス(1~2月分)

1. 単元 (1) 教科書 Lesson5 The High school Student Restaurant

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【関心・意欲・態度】 ・職業について関心を持ち、積極的に内容に取り組む。</p> <p>【表現の能力】 ・It is ~to... (動詞の原形) を用いて、正しい文を書く。</p> <p>【理解の能力】 ・本文中の代名詞が指す内容や注意すべき意味について理解する。</p> <p>【知識・理解】 ・It is ~to... (動詞の原形) の基本的な用法を理解している。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ①職業について関心を持ち、積極的に内容に取り組むことができる。</p> <p>【表現の能力】 ②It is ~to... (動詞の原形) を用いて、正しい文を書くことができる。</p> <p>【理解の能力】 ③本文中の代名詞が指す内容や注意すべき意味について理解できる。</p> <p>【知識・理解】 ④It is ~to... (動詞の原形) の基本的な用法を理解できる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	場所	学習内容	評価方法	評価規準
1	Lesson5-1 50ページ	学校	(1) 教科書音読 (2) 教科書51ページ (3) Lesson5-1 プリント (4) forms で英作文を提出する。	テスト提出物 授業態度	① ② ③ ④
		家庭	(1) 校内検定プリント(12回)	提出物	
2	Lesson5-2 52ページ	学校	(1) 教科書音読 (2) 教科書53ページ (3) Lesson5-2 プリント (4) (宿題/classroom) 音読テスト	テスト提出物 授業態度	① ② ③ ④
		家庭	(1) 本文書きプリント (2) 提出物確認 ①教科書(51ページ、53ページ)、 ②Lesson5-1 プリント ③Lesson5-2 プリント、 ④校内検定プリント ⑤本文書きプリント	提出物	

※学年末考査内容(予定)

- (1) チャンクで英単語(Step17、Step18)
- (2) Lesson5-1(教科書50~51ページ)とそのプリント
Lesson5-2(教科書52、53ページ)とそのプリント
- (3) 校内検定12回

※【提出物について】

- (1) 教科書、プリントの提出物は学年末考査の英語のテストが実施される日に、英語係に提出。
- (2) 冬休みの宿題(ドリルノット)の未提出、再提出は、登校時に提出。最終締切、提出方法は(1)と同じ。

球磨工業高等学校 2 学年_全科「家庭基礎」シラバス（1～2月分）

1. 単元 子どもと共に育つ ①子どもの育つ力を知る

2. 単元の見どころ	3. 評価規準
<p>【関心・意欲・態度】 ・子どもの心身の発達について関心を持ち、子どもを支える大人の役割を考える。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・遊びの重要性を知り遊び環境がもたらす課題について考える。</p> <p>【技能】 ・子どもの発達に応じて適切に関われるようになる。</p> <p>【知識・理解】 ・子どもの心身の発達段階を知る。 ・子どもの健全な発達を支える大人や遊びの役割を理解する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ①子どもの心身の発達について関心を持ち、子どもを支える大人の役割を考えようとしている。</p> <p>【思考力・判断・表現】 ②遊びの重要性を知り遊び環境がもたらす課題について考えを深めることができる。</p> <p>【技能】 ③子どもとの触れ合いに、発達に応じた関わりをいかすことができる。</p> <p>【知識・理解】 ④子どもの心身の発達の特徴を理解している。 ⑤子どもの健全な発達を支える大人や遊びの役割を理解している。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	はじめに 生まれつき持っている能力 乳幼児期の成長	1	<p>・プリント「子どもと共に育つ」に取り組む。 (教科書 p 34～35 の写真も見ながら) ※生活学 N a v i p 26～も参考にする。</p> <p>・教科書 p 36～37 を読み、プリント「子どもの育つ力を知る① (No 1)」に取り組む</p>	課題プリント	① ④
第2回	心の発達 遊びの発達	1	<p>・教科書 p 39～40 を読み、プリント「子どもの育つ力を知る② (No 1)」に取り組む。</p> <p>・教科書 p 40～41 を読み、プリント「子どもの育つ力を知る② (No 2)」に取り組む。</p>	課題プリント	② ④ ⑤

※教科書の図や表などもしっかり見ながら、プリントに取り組みましょう。

・解答はクラスルームで配付しますので、各自確認してください。補足説明等は分散登校日の授業で行います。

・プリントは、なくさないようにファイルに綴じておいてください。

球磨工業高等学校 2 学年_機械実習シラバス (分散登校)

使用教材：資料：機械検査学科問題

1. 単元 (1) ノギス (2) マイクロメーター (3) 学科問題集

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 周りの危険度についての知識を習得する。</p> <p>(2) 測定器 (ノギス) に関する知識を習得する。</p> <p>(3) 機械に関する知識を習得する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>(1) 周囲の危険度を理解する。</p> <p>(2) 正しい機械の使用方法を把握する。</p> <p>(3) 道具の用途を踏まえ、使用方法を把握する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>(1) 計画を立て、実施する。また、更なる興味を持ち、意欲的な態度を示す。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>1 測定器 (ノギス・マイクロメーター) の使い方を理解し目盛りを読むことができる。</p> <p>2 種類、各部名称を正しく理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>3 道具を安全に使用方法について自分の考えることができる。</p> <p>4 機械検査の学科を解き、機械に関する知識を習得している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>5 計画を立てまた、更なる興味を持ち、意欲的な態度を示すことができる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学 習 内 容	評 価 方 法	評 価 基 準
2 回	計測機器のダイヤルの読み方	3	課題プリントに取り組む <ノギス・マイクロメーター・シリンダーゲージ練習問題> ・ノギス、マイクロメーター・シリンダーゲージのダイヤルの読み方を理解する。	クラスルームにて問題を解かせる。	1 2 3 4 5
		3	<マイクロメーターの読み方> ・マイクロメーターの 1/1000mm 単位までの読み方を理解する。		

2. 単元の見積	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製図に関する基礎知識と技術を習得する。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物体を立体的に捉えることができる。 ・寸法公差を正しく理解し、必要な知識や技術を使うことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画を立て、実施し、取組を繰り返す。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①製図の基本である等角図を正確に描くことができる。 ②寸法公差とはめあいについて理解できている。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ②寸法公差とはめあいについて正しく理解しており、問題を解くことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③計画を立て実施し取組を繰り返すことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学 習 内 容	評 価 方 法	評価基準
第 1 回	製図の基本	1・2	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p. 31～37 を読む。 ・課題プリント「等角図①と②」を解く。 	課題プリント 「等角図①②」	① ② ③
		3・4	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p. 105～115 を読む。 ・課題プリント「寸法公差とはめあい」を解く。 	課題プリント 「寸法公差とはめあい」	① ② ③

球磨工業高等学校 2 学年_機械科「情報技術基礎」シラバス (1・2 月分)

1. 単元 (1) プログラミングの基礎 (2) BASIC によるプログラミング

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム言語の種類や高水準言語で記述したプログラムが実行される手順について理解している。 ・プログラムを作成して実行結果を確認するまでの手順について理解している。 ・データの入出力・直線的な処理・分岐処理・繰り返し処理などの基本的なプログラムの作成方法を習得している。 ・数値・文字などの定数と変数の扱い方や、各種関数の扱い方を習得している。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本形である順次・選択・繰り返しの流れ図やおもな流れ図記号について判断し、表現することができる。 ・コンピュータによる処理の特徴としての大量データを扱うファイル処理やグラフィックスのプログラムについて考えることができる。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画を立て、実施し、取組を繰り返す。 	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①プログラム言語の種類や実行手順について理解している。 ②プログラムを作成し実行結果を確認することができる。 ③基本的なプログラムの作成手順について理解している。 ④基本的な関数の使い方を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑤アルゴリズムや主な流れ図記号について説明することができる。 ⑥プログラムの基本的な構成について説明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑦計画を立て実施し取組を繰り返すことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間		学習内容	評価方法	評価規準
第1回	プログラミングの基礎	1	登校	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P. 66～73 を読む。 ・クラスルーム「情報技術基礎」に挙げている情報技術検定過去問をワークシートに解く。 	過去問を解いたワークシートを提出	① ②
自宅	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスルーム「情報技術基礎」に挙げている情報技術検定過去問をワークシートに解く。 					
第2回	BASIC によるプログラミング	2	登校	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P74～79 を読む ・クラスルーム「情報技術基礎」に挙げている情報技術検定過去問をワークシートに解く。 	過去問を解いたワークシートを提出	③ ④
自宅	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスルーム「情報技術基礎」に挙げている情報技術検定過去問をワークシートに解く。 					

球磨工業高等学校 2 学年_機械科「機械工作」シラバス (1/28~2/10)

1. 単元 (1) 鉄鋼材料 (2) 鋳造法と鋳型 (3) 溶接・接合 (4) 切削加工

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・硬の熱処理の目的と方法・鋳鉄の性質を理解している。 ・材料の特徴や用途を理解している。 ・鋳造法の種類や用途を理解している。 ・溶接・接合の種類や用途を理解している。 ・切削加工の種類や用途を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業製品に使用する材料の性質・加工性について表現する。 ・各種の工作法について表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画を立て、実施し、取組を繰り返す。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①硬の熱処理の目的と方法・鋳鉄の性質を理解できる。 ②材料の特徴や用途を理解できる。 ③鋳造法の種類や用途を理解できる。 ④溶接・接合の種類や用途を理解できる。 ⑤切削加工の種類や用途を理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥工業製品に使用する材料の性質・加工性について説明できる。 ⑦各種の工作法について説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑧計画を立て実施し取組を繰り返すことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	熱処理	1	①教科書P40～41を読む。 ②ワークシート01にまとめる。	ワークシート01	① ⑥
第2回	材質記号	2	①教科書P42～43を読む。 ②ワークシート02にまとめる。	ワークシート02	② ⑥
第3回	鋳造・切削	3	①教科書P74～79を読む。 ②教科書135～147を読む。 ③ワークシート03にまとめる。	ワークシート03	③ ⑤ ⑦
第4回	切削・溶接	4	①教科書P148～159を読む。 ②教科書P88～95を読む。 ③ワークシート04にまとめる。	ワークシート04	④ ⑤ ⑦ ⑧

球磨工業高等学校 2 学年_機械科 「機械設計」 シラバス (1.28-2.13)

使用教材 教科書：新機械設計 (実教出版株式会社)

1. 単元 工業技術基礎学力テスト (1) 平成30年度 (2) 令和元年度 (3) 令和2年度
 曲げを受ける部材の強さ (1) 断面二次モーメントと断面係数 (2) 危険断面
 (3) はりのたわみ

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 機械や構造物を構成している部材の強度や剛性に関心を持ち、引張・圧縮・せん断荷重による材料の変形や材料の使いかたを探究し、理解しようとする。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 材料に対し、どのような応力が生じているか、たわみが生じているか、どのようにしたら計算できるかを考察でき、計算の過程や結果および考えかたを的確に表現できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら教科書を読み深め、関心を高める。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①現在までの学習を理解している。 ②部材の応力、ひずみ等の計算法を身につけている。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③例題を通して計算の過程や結果および考えかたを的確に表現できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④自ら教科書を読み深め、関心を高めることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価基準
第1回	基礎学力テスト練習問題	1	・google forms で令和元年度①②、令和元年度⑤⑥⑦を開き、問題に取り組む。回答後、解説を読み、間違い直しをする。	・google forms	① ② ③ ④
	基礎学力テスト問題	2	・google forms で令和元年度工業技術基礎学力テストを開き、問題に取り組む。 ・令和2年度①②⑤⑥⑦は宿題とする。	・google forms 模擬テスト	① ② ③
第2回	基礎学力テスト問題	3	・google forms で令和2年度工業技術基礎学力テストを開き、問題に取り組む。	・google forms 模擬テスト	① ② ③
	曲げを受ける部材の強さ	4	・材料に荷重が生じたとき、材料がどのような変形が生じるかを理解し、計算によってたわみを求めることができる。	・クラスルームにて配布プリントを見てノートに写す ・学年末考査後、回収	② ③ ④

球磨工業高等学校 2 学年_機械科 「原動機」 シラバス

1. 単元

内燃機関の作動原理、ガスタービン、蒸気動力プラント

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内燃機関の種類や特性を理解する。 ・ 熱機関と熱効率を理解する。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気動力プラントやガスタービンについて考えを深める。 ・ 熱機関サイクルと熱効率を理解し活用できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題について主体的に考え、理解を深める。 ・ 計画を立て、実施し、取組をふり返る。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 内燃機関の種類や特性を理解する。 ② 熱機関と熱効率を求める。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ 蒸気動力プラントやガスタービンについて説明し、図示する。 ④ 熱機関サイクルと熱効率を説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤ 課題について主体的に考え、理解を深めることができる。 ⑥ 計画を立て、実施し、取組をふり返ることができる

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	内燃機関の作動原理	1	① 出欠を入力する (classroom) ② Google ミートに接続する ③ Google スライドで説明を聞く。 ④ 与えられた課題を作成する ⑤ 課題を classroom に提出する	ワークシート15 (冬休みの課題)	①
第2回	ガスタービン	1	① 出欠を入力する (classroom) ② Google ミートに接続する ③ Google スライドで説明を聞く。 ④ 与えられた課題を作成する ⑤ 課題を classroom に提出する	ワークシート17	③ ⑤
第3回	蒸気動力プラント	1	① 出欠を入力する (classroom) ② Google ミートに接続する ③ Google スライドで説明を聞く。 ④ 与えられた課題を作成する ⑤ 課題を classroom に提出する	ワークシート18	③ ⑤
第4回	学習のまとめ	1	① 出欠を入力する (classroom) ② Google ミートに接続する ③ Google スライドで説明を聞く。 ④ 与えられた課題を作成する ⑤ 取組状況や学習内容について Google フォームで回答する。	ワークシート19 (2/4に配布予定)	② ④ ⑥